

事務事業名		準用河川整備事業						評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり						担当組織	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課
	政策	1 安心して安全に暮らせるまちづくり						担当係	河川係		担当課長名	青木 茂良
	施策	1 消防・防災体制の強化						新規事業・継続事業		新規事業		
	基本事業	4 治山・治水対策の推進						実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	11277	一般	8	3	1	準用河川整備事業						
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業			
事業計画	期間限定複数年度	事業期間	H26年度～H29年度			根拠法令 条例等	佐野市公共物管理条例			実施方法		直営
	事業区分		事業分類		施設維持管理事業(市主体)		リーディングプロジェクト		該当なし			
	市長マニフェスト		該当なし									

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
・準用河川旧秋山川及び鷺川の氾濫を予防するための浚渫を実施して河積を確保するものである。 全体工事区間 旧秋山川 L=2,539m 鷺川 L=2,620m 工事内容(浚渫工事)L=5,159m 総事業費 C=165,000千円	旧秋山川浚渫工事 L=800m 鷺川浚渫工事 L=1,020m 計 L=1,820m						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	旧秋山川の浚渫延長	m		800	775	400	564
	鷺川の浚渫延長	m		1,020	650	450	500

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

旧秋山川 鷺川	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	浚渫計画延長	m		5,159	5,159	5,159	5,159

目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

・準用河川旧秋山川及び鷺川を浚渫することにより、台風や集中豪雨による出水に対して水害のない河川とする。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	浚渫計画の進捗率	%		35.3	50.4	75.6	100.0
	浚渫済総延長	m		1,820	2,600	3,900	5,159

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

・土砂災害や水害の発生を防止し、市民の安全を確保する。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	山地災害危険箇所の整備率	%	41.9	41.5	49.0	50.0	51.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円		27,400	28,000	50,000	59,600					
	事業費計(A)	千円	0	27,400	28,000	50,000	59,600					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
					15.工事請負費	27,400	15.工事請負費	28,000	15.工事請負費	50,000	15.工事請負費	59,600
	人件	正規職員従事人数	人	3		3		3		3		
		のべ業務時間	時間	998		998		998		998		
人件費	人件費計(B)	千円	0	3,933	3,933	3,933	3,933					
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	31,333	31,933	53,933	63,533					

事務事業名	準用河川整備事業	担当部	都市建設部	担当課	道路河川課	担当係	河川係
-------	----------	-----	-------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	準用河川旧秋山川及び鷺川は長年の土砂が堆積し河積を侵しているため、流下能力が低下し溢水を起こす危険性がある。今回、河川を浚渫し河積を回復することにより流下能力を向上させ、溢水を防止することにより市民の安全を確保する。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	ゲリラ豪雨等最近の異常気象が報道されるなか、雨水排水に対する市民の意識が高く、常に注目をあびている。また、周辺の開発等により、出水量が多くなり河川が溢水する危険が高まってきている。この状況のなか、行政は適切な河川管理を求められている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	河川の浚渫に関する要望は、町会や市議会議員や近隣耕作者などから多数寄せられているため、早期実施が望まれている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	・水路浚渫工事により、水害を未然に防止でき、市民の生命財産を守り、安全を確保する
	結びついている		
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	・水害を未然に防止し、市民の安全を守るための河川の維持管理は、自治体の重要な責務であり、市が行うのは妥当である。
市が行わなければならない			
③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・この事業は、河川を適正に維持管理し、水害を未然に防止することを目的として実施するものであり、対象及び目的は合っている	
妥当である			
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	・業の目的は河川の浚渫であり、浚渫工事を速やかに効率的に実施することが目的であり、他の方法はない。
	成果向上余地がない		
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
類似事務事業はない	理由・改善案		
* 類似事務事業があれば、名称を記入			
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	・最低限度の人員配置で実施するもので、人件費削減の余地は無い。
	削減の余地はない		
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	・本事業は河川そのものが原因となる水害を未然に防止するための事業で、特定の受益者はいない。
	受益者負担を求める必要がない		
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	・準用河川旧秋山川及び鷺川における予定浚渫区間が完了した時		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			